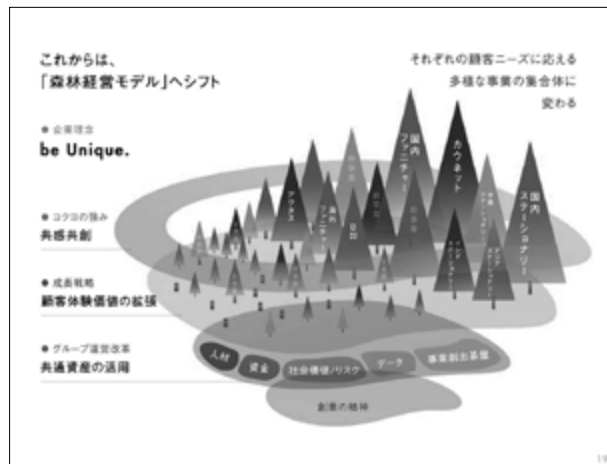


情報をクリップする



発行所 紙製品新聞社
〒542-0061 大阪市中央区安堂寺町
2-4-14 文健会館3階
TEL06(6765)1881 FAX06(6765)1880
購読料 1年間11,000円(税込)
振替口座 00990-3-16988番
e-mail:clips@ah.wakwak.com
Jcopy 本紙の無断複製は著作権法上の
例外を除き禁止されています。複製される場合は、
そのつと事前に出版者著作権管理機
構(tel03-3513-6909 fax03-3513-6979 e-mail:
info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

KOKUYO
Campus
コクヨ株式会社



コクヨが今年2月に発表した長期ビジョン

コクヨ株式会社(黒田英邦(采風カリフォルニア州)、5社長、大阪市)は、2月に中高生・ト共有アプリのクリア(A東京都港区)との業務提携を結ぶ。4月30日に住宅の設計・開発および関連ソフトウェア開発の「HOMMA」

積極的に事業領域拡大 コクヨ 変化する顧客ニーズ捉え

2万4418人来場

ISOT夏 異業種から多彩な文具

リード・エグジビション・ジャパン株式会社(田中岳志社長、東京都)は、文具・紙製品の商談展「第32回国際文具・エグジビション」を6月30日〜7月2日、東京ビッグサイト青海展示棟で開催。昨年来場者数は2万4418人が来場、盛況のうちに終了した。

主催者側では政府・自治体および展示会業界のガイドラインを基に、安全を確保し開催。会場内では徹底したコロナ対策を実施した。ISOTは、雑貨・ファッション・インテリア・ビューティ・ライフスタイル商材が一堂に出展する「第16回ライフスタイルWEEK」の会場風景(日本文具大賞展示コーナー)



富士封筒
フジックス株式会社
http://www.fujix-kk.com

を活用した新しい商品・サービスの展開③スモールマスの付加価値ニーズへの対応を掲げて、積極的な研究開発や投資の検討を進めている。また、従来の同社グループは空間価値ドメインにおいて、働く人の目的や働き方に合わせて空間やスタイルを選択できる「ABW (Active Based Working)」のニーズが全世界で広がっていることに対し、国内ファニチャー事業の持続的成長を確実なものとしながら、中長期での成長領域(グローバル、暮らし

等)の検討を進めている。HOMMAは、2016年に米国シリコンバレーで創業したスタートアップ企業。テクノロジーな住宅を通じて人々の生活を未来に「していく」をミッションに、独自の建築デザインと自社開発のスマートホーム技術を融合させたユニークなアプローチで次世代のスマートホームの実現を米国で目指している。第1弾として、日本の住宅技術や製品を取り入れ、スマートホームデバイスをビルトインした住宅(HOMMA HAUS Waterside)を北カリフォルニアに建設、売却し、第2弾として、スマートコミュニティとして、スマートコミュニティ住宅(HOMMA HAUS Mount Tabo)

を実現するIoTサービスで、デジタルIDと物理IDを組み合わせてユーザーを認証するアクセス認証基盤「Akerun Access Intelligence」を活用し、あらゆる扉がインターネット

をオレゴン州ポートランドに建設中で、2021年後半に竣工予定。同社との間で業務提携を締結することによって、スマート化・コネクテッド化する住宅における仕事・学習環境の向上に関する研究開発および共同研究を推進し

構成員のひととして開催。文具関連では、クラウドファンディングで反響を得た「紙の見た目」(丸葉紙、都内ものづくり企業が開発した「リンクレス」のスクラップ「リンクフリー」(研恒社)「himekuri」の新製品「ケーシング」)環境に配慮したエコかわい「フアイバー紙製文具シリーズ」(スガイワルド)、デザイン部門優秀賞に輝いた、発達障害当事者の「あつたらい」をつめた「mahora」(まほ)「ノート(大衆紙工、絵を塗りながら香りを楽しめ」)販売を見せる「ISOTの会場風景(日本文具大賞展示コーナー)

ベトナムに初の海外生産拠点

日本ノート株式会社(角坂靖夫社長、東京都)は、初の海外生産拠点ベトナム工場を開設、9月より稼働する。ベトナム工場は、日本ノートの向上を目指していく。生産高目標は、2022年末で年間2700万冊。また、ベトナム工場開設に伴って生産体制を見直し、現在2カ所の国内工場は岡山に集約し、枚方工場は今年8月31日に閉鎖する。今後は岡山ベトナムの国内外2工場体制で、キョクトウ、アビカ西フランド製品を生産し、業務の拡大を目指す。



heart
www.heart-group.co.jp
ハート株式会社
人から人へ心を伝える ハート紙製品
名刺・封筒・はがき・カード・鑑状・カレンダー・環境対応製品

11月15日は
「いいインコの日」
sedia
since 1932
www.sedia.co.jp

を実現するIoTサービスで、デジタルIDと物理IDを組み合わせてユーザーを認証するアクセス認証基盤「Akerun Access Intelligence」を活用し、あらゆる扉がインターネット

に埋めると植物が育つ「芽が出る鉛筆」(レトロバンク)などが紹介された。また、会期中は、各業界をリードする企業のキーパソンが講演するセミナーも各回満員の盛況だった。次回ISOT秋は、9月29日〜10月1日に、インテック大阪で開催を予定。

所やシーンへのアクセス管理を実現する。同社との間で業務提携を実施することによって、販売活動における提携を行うことも、ワーカーの行動や状態を収集・分析し、オ

フィス空間におけるユーザー時代のコミュニケーション活性化に向けた共同研究を進める。アマナは、1979年に広告写真制作会社として創業し、現在は写真・CG・映像・イラストレーションなどのコンテンツ提供を行うビジュアルコミュニケーション事業を展開。同社の展開する次世代型バーチャル・ライア・ビジュアルソリューション「deplyve (ディープライブ)」は、高い映像技術と豊富なクリエイティブ人材をベースに、リアルな映像とデジタルコンテンツを組み合わせた映像の制作・配信を行うサービスであり、オンラインで視聴するオーディエンスに対して極めて高い臨場感を持つ映像を提供することができ

気持ち伝わる お助け文具
ほめ上手な ほめこさん

製品の紹介
動画配信中!

上記QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ってください。

「ほめたい気持ち」をサポートするお役立ちアイテム

- ほめ手帳
- 封筒付きカード
- 2つ折りふせん
- メッセージシール

わたしの未来は「ほめる新習慣」でハッピーになる♪

ほめる新習慣

- 1 日常の中でほめポイント探し
- 2 ほめポイントを書く
- 3 相手に伝える
- 4 感謝される

相手にも自信とやる気が!

ほめガイド監修:「ほめLab」代表 ほめりすと 木村 美季さん

テレビで紹介されました!!
テレビ東京 WBS「トレンドたまご」(2021年3月16日)

株式会社 ササガワ 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-16-29 TEL: 06-6261-2831 (代) FAX: 06-6266-0126 URL: https://www.sasagawa-brand.co.jp